

法研論集第130号寄稿原稿一覧

氏 名	学 年	論 文 題 目
今泉(向笠) 友子	博士後期課程4年	「WTO農業交渉における『農業の多面的機能論』と日本の農業関連法制度改革(2・完)―多面的機能論の変容と、多面的機能論と日本の農政改革との関連―」
小川 祐之	2008年3月 博士後期課程退学	「土地利用調整における『私』法の役割」(2)・完 ―まちづくりの法社会学―
長内 祐樹	博士後期課程4年	現代イギリスにおける地方自治の変容(二・完) ―新労働党政権下におけるイギリス地方行政の構造的変容を中心に―
河合 正雄	博士後期課程2年	イギリスの刑事施設における懲罰手続をめぐる判例の展開
姜 永起	博士後期課程5年	韓国における企業買収制度
権 奇法	博士後期課程3年	公物・国公有財産の利用と管理(2・完) ―公物管理と財産管理の区別―
武田 芳樹	博士後期課程3年	裁判所を取り巻く政治的環境に関する考察(2・完) ―アメリカ合衆国における制定法解釈論の含意―
千國 亮介	博士後期課程2年	人権とその制約原理について(1)
趙 京喜	博士後期課程4年	地域団体商標制度を中心とする日本の地理的表示保護システム(2)・完
常森 裕介	博士後期課程1年	貧困世帯の児童に対する州立児童医療保険プログラム(SCHIP)の意義(1)
手塚 一郎	博士後期課程6年	民法724条後段の法的性質(6)・完 ―判例の潮流と除斥期間説の再評価を中心に―
原口 佳誠	博士後期課程3年	アメリカにおける州裁判官公選制の課題(2) ―政治部門からの独立性と民主的基盤―
韓 敬新	博士後期課程1年	会計処理基準の変更と「公正なる会計慣行」(1) ―旧長銀刑事事件最高裁判決を契機として―
皆川 誠	博士後期課程6年	国際条約における抵触解決条項
向山 純子	研究生	外国倒産承認援助法における「主たる営業所」の判断基準について ―アメリカ連邦倒産法第15章手続における「主たる利益の中心地」の検討を通して―
孟 仲芳	博士後期課程3年	中国における法人財産の帰属に関する一考察(2・完) ―国株主およびその出資財産の性質を中心に―
熊 潔	博士後期課程3年	ブルー・スカイ・ローにおけるメリット・レギュレーション(1)